

会 議 録

| | | | | | | |
|------------------------|-----|--|----|------|------|------------------|
| <p>会議名 (審議会等名)</p> | | <p>さがみはら^{こくさい}国際^{けんとう いんかい}プラン^{だい}検討^{かい}委員会 (第4回)</p> | | | | |
| <p>事務局 (担当課)</p> | | <p>シティセールス・親善^{しんぜんこうりゅうか}交流^{でんわ}課 電話042-707-7045 (直通^{ちよくつう})</p> | | | | |
| <p>開催日時</p> | | <p>令和元年^{ねん}5月^{がつ}20日^か(月) 18時^じ30分^{ふん}～20時^じ30分^{ふん}</p> | | | | |
| <p>開催場所</p> | | <p>相模原市役所^{さがみはらしやくしょ} 本館^{ほんかん}2階^{かい} 第1^{だい}特別^{とくべつかい}会議^{ぎしつ}室</p> | | | | |
| 出席者 | 委員 | 10人 ^{にん} (別紙 ^{べっし} のとおり) | | | | |
| | その他 | 0人 ^{にん} | | | | |
| | 事務局 | 5人 ^{にん} (^{しょうがいぶ} 渉外部 ^{ちょう} 長、 ^{しんぜんこうりゅうか} シティセールス・親善 ^{ちよう} 交流 ^{ほかにん} 課長、他3人) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 1人 ^{にん} |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | <p>1 ^{かいかい}開会</p> <p>2 ^{きほんりねん}基本理念^{について}</p> <p>3 ^{しさく おも じぎょう}施策・主な事業^{について}</p> <p>4 ^{だい}第3次^じ国際^{こくさい}プラン^{すいしん}の推進^{について}</p> <p>5 ^たその他</p> | | | | |

審 議 経 過

第4回検討委員会について、主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 基本理念について

原案を基本とし、本プランに位置付ける施策・事業が整理された時点で、再度確認することとなった。

3 施策・主な事業について

委員からの意見を踏まえ、事務局において再度整理することとなった。主な意見等は次のとおり。

< 施策1 - 1 >

「市民や学校教育における多文化理解を深める事業を推進します」において、「市民における多文化理解」というのは日本語として違和感がある。「市民生活や学校教育における」とするか、「市民や児童・生徒に対する」とするなど検討してほしい。

検討する。

市民の多文化理解の推進について、諸外国の文化紹介は理解できるが、共生社会を進めるものとしては足りないように感じる。

施策1 - 1については、あくまで理解の推進を図るということで、各事業を記載している。

多文化理解を推進するためには、外国人の方が困らないように言語や制度の部分で、直接手を差し伸べるとともに、日本人も外国人とともに新しい文化を築き上げていこうとする心構えが必要である。

施策の基本方向1の説明文で、「全ての市民が快適に」とあるので、「市民や学校教育における」を「全ての市民における」としてもよいのではないか。

検討委員会における以前の議論で、外国人市民と日本人市民が相互に理解し合わなければならないという意見があったが、「全ての市民」にはそういう考え方が含まれているのか。

含まれている。

事務局において調整する。

< 施策 1 - 2 >

2020年から小学校では、外国語が教科となるが、今現在はその前段として、外国語に慣れるということを進めている。

施策 1 - 2 について、日本人からの視点に立った表現のように感じる。また、先生の理解を深めることができないと、子どもへの教育が行き届かないので、「多文化理解の推進」よりも「教職員への研修」を先に記載した方がよい。

< 施策 2 - 1 >

相談対応のところで、「各地への出張相談を実施する」と書かれている部分の「各地」とはどのくらいのエリアを想定しているか明確にした方がよい。

外国につながる児童生徒が日本で育つ中で母語が話せなくなるという問題がある。母語教育の必要性を取組として位置付けられないか。

母語教育については、そういった活動を行う団体を何らかの形で支援することはできるかもしれない。教育分野だけでなく、他の分野で読み取ることができないかも含めて確認しながら検討したい。

相談対応の中で、相談分野がいくつか列挙されているが、外国人市民アンケートに基づき、多いものから列挙すればよいのではないか。

相模原市の実態にあったものに修正する。

「一元的」という文言は、外国の方にとって理解しにくいので、ワンストップという表現がよいと思う。

< 施策 2 - 2 >

情報はたくさんあるが、そこにたどりつけないという問題がある。市役所の中に外国人市民にとって必要な情報が1か所に集約される場所があればよい。

その役割をワンストップセンターが果たすべきである。

< 施策 3 - 1 >

施策の基本方向3の説明文冒頭について、「少子高齢化に伴い、人口減少社会を迎える中では」とした方がよい。

修正する。

外国人市民の方について、自治会には加入しているが、イベントにはなかなか出てこられない。

多くの外国人市民は企業で働いているため、企業とも連携した中でまちづくりへの参画を促せばよいのではないか。

< 施策 4 - 1・4 - 2・4 - 3 >

施策 4 - 2 の「魅力の発信と誘致」について、「誘致」を「誘客」としてほしい。

「大都市圏で開催される MICE への参加者を対象としたアフターコンベンションについて誘致を図る」について、「大都市圏で開催される」という部分は削除すべき。例えば東京で開催される MICE について、アフターコンベンションだけを誘致するということは実務としてもできない。

MICE については注釈を入れてほしい。

承知した。

< 施策 5 - 1・5 - 2・5 - 3 >

交流・協力というのは10年、20年と行っているため、施策の基本方向5のタイトルに、「さらなる」という文言を加えてほしい。

「JICA との連携」の中の「シニア海外ボランティア」については、「シニア海外協力隊」という名称になっているので修正をお願いしたい。

< 施策 6 - 1・6 - 2・7 - 1・7 - 2 >

基本目標については、すべて「まちづくり」という文末で統一しているが、最後の基本目標については、「誰もが国際化の推進に参加できる仕組みづくり」とした方がじっくりくる感じがする。

「仕組みづくり」だと少し狭い範囲での表現となってしまう。目標としてふさわしい表現という観点も踏まえ、「誰もが国際化の推進に参加できるまちづくり」としている。

4 第3次国際プランの推進について

「多文化共生に取り組んだ市民の割合」に係る質問項目について「挨拶をした」とあるが、そのような単純な行動で成果を図ったとしても、多文化共生に向けた取組が成熟していくのか。

アンケートでは、選択肢をいくつか用意する予定。「挨拶をした」とか、「ボランティア活動を行った」とか、段階をおって活動のレベルが上がっていくように選択肢を設定し、「多文化共生に取り組んだ市民の割合」を見ていくイメージである。

アンケートについては、日本人を対象に行うのか。

外国人市民にもアンケートをとる。

成果指標については、数値をとり、これを評価していくという手法もあると思う。一方で、市民の割合というより、市民にどういう状態になってほしいのかというところに主眼を置いて評価する手法もある。アンケートの質問項目をいくつかの段階をおって設定するという事なので、工夫することもできるのではないかな。

企業の海外展開については、安定的な経営という意味では決してマイナスではなく、国際プランでも推進していくこととされているが、これが進むと指標である「グローバル展開による雇用創出数」は減少してしまう。展開支援が指標にとっては逆に働く可能性があるのでは、少し考えた方がよいのではないかな。

外国人来訪者数について、観光案内所で捉えるということだが、2箇所だけで規模も小さいので、これを市の傾向として捉えるのは難しいように感じる。

宿泊者数を捉えるということもできるのではないかな。

再度検討する。

5 その他 なし

以上

さがみはら国際プラン検討委員会（第4回）委員出欠席名簿

| | 氏名 | 所属等 | 備考 | 出欠席 |
|----|------------|------------------------------|------|-----|
| 1 | 石川 敏美 | 公益財団法人 相模原市産業振興財団 常務理事 | | 出席 |
| 2 | 川上 宏 | 公益財団法人 相模原市体育協会 常務理事 | | 出席 |
| 3 | 北村 美仁 | 一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事 | | 出席 |
| 4 | 金 愛蓮 | さがみはら国際交流ラウンジ 運営機構 代表 | | 出席 |
| 5 | 熊谷 晃子 | 独立行政法人 国際協力機構 横浜センター所長 | | 出席 |
| 6 | 鯉田 哲子 | 公募委員 | | 出席 |
| 7 | 坂本 堯則 | 相模原市自治会連合会 会長 | | 出席 |
| 8 | 佐藤 雲美 | 公募委員 | | 出席 |
| 9 | 柴田 マリーグレイス | 公募委員 | | 出席 |
| 10 | 杉岡 芳樹 | 相模原商工会議所 会頭 | 副委員長 | 欠席 |
| 11 | なかざわ 隆 | 相模原市立小学校長会 鹿島台小学校長 | | 出席 |
| 12 | 牧田 東一 | 桜美林大学 教授 | 委員長 | 欠席 |